



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 麻生フォームクリート株式会社  
コード番号 1730 URL <http://www.asofoam.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事業支援本部長  
四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

(氏名) 河村 洋介  
(氏名) 花岡 浩一

TEL 044-422-2061

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,879	15.4	△17	—	△15	—	△17	—
28年3月期第2四半期	1,628	△12.5	△29	—	△25	—	△23	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△5.03	—
28年3月期第2四半期	△6.80	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,363	1,331	39.6
28年3月期	3,691	1,379	37.4

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 1,331百万円 28年3月期 1,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,656	21.5	130	7.1	142	2.9	132	6.2	38.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	3,420,000 株	28年3月期	3,420,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	6,194 株	28年3月期	6,194 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	3,413,806 株	28年3月期2Q	3,413,806 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. 補足情報	10
受注高、完成工事高及び繰越工事高	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益は緩やかな回復基調で推移したものの、企業の設備投資は円高の進行に伴い、先行き不透明感が強まったことなどから横ばいで推移しました。また、雇用・所得環境は改善が続き、消費者マインドには持ち直しの動きが見られましたが、個人消費は台風や猛暑などによる天候不順の影響を受け、弱含みで推移しました。一方で、世界経済は、米国で個人消費の増勢が景気の拡大を牽引し、世界全体としては緩やかな回復基調で推移しましたが、中国経済の減速、11月に控える米国大統領選挙、Brexit決定による欧州情勢など先行きは不透明な状況となっております。

建設業界におきましては、政府建設投資はほぼ横ばいで推移し、日銀のマイナス金利政策による金利の低下や景気の緩やかな回復基調に伴い、民間建設投資は堅調に推移しました。しかしながら、資材費や労務費のコストが高止まりする中で、北海道・東北地区の集中豪雨による影響で、公共工事の優先順位が入れ替わり、当初予定されていた工期が先延ばしになるなど、当社を取り巻く経営環境は厳しい環境で推移しました。

このような状況の下、当社は営業展開の強化をはかり、また施工人員の確保に注力し、引き続きコスト低減に取り組み、受注量の確保と収益性の改善をはかってまいりました。

当第2四半期累計期間の業績は、気泡コンクリート工事の受注が順調に推移したことにより、工事全体の受注高は2,156百万円（前年同期比15.5%増）と増加し、売上高につきましても前事業年度からの繰越工事が多かった主力の気泡コンクリート工事の完成工事高が大幅に増加したことから、工事全体の完成工事高は1,872百万円（前年同期比15.8%増）となり、商品販売を含めた全体の売上高も1,879百万円（前年同期比15.4%増）となりました。

各段階の損益につきましては、受注価格競争が激しさを増し、完成工事総利益率が低下しましたが、完成工事高が増加したことにより、営業損失17百万円（前年同期は営業損失29百万円）、経常損失15百万円（前年同期は経常損失25百万円）、四半期純損失17百万円（前年同期は四半期純損失23百万円）となりました。

なお、当社の主たる事業である建設業の特徴として、完成工事の割合が第4四半期会計期間に偏するという傾向があります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ328百万円減少し3,363百万円となりました。その主な要因としましては、受取手形が142百万円増加しましたが、現金預金が477百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ279百万円減少し2,031百万円となりました。その主な要因としましては、支払手形が179百万円、長期借入金が130百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ48百万円減少し1,331百万円となりました。その主な要因としましては、当第2四半期累計期間に四半期純損失を計上したことや配当金の支払いをしたことにより、利益剰余金が減少したことによるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は312百万円（前年同期は195百万円の収入）となりました。これは主に税引前四半期純損失15百万円、売上債権の増加79百万円、未成工事支出金の増加19百万円、仕入債務の減少169百万円などによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は9百万円（前年同期は30百万円の使用）となりました。これは主に有

形固定資産の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は154百万円(前年同期は115百万円の使用)となりました。これは主に短期借入金の増加12百万円となったものの、長期借入金の返済による支出130百万円、配当金の支払額29百万円などによるものであります。

これにより当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は、前事業年度末に比べ477百万円減少し、506百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想としましては、平成28年5月13日に公表しました平成29年3月期通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	983,194	506,127
受取手形	303,897	446,385
完成工事未収入金	868,321	802,481
売掛金	1,465	4,220
未成工事支出金	3,079	22,599
原材料及び貯蔵品	39,067	49,008
前払費用	18,147	15,518
繰延税金資産	11,699	21,755
その他	22,766	27,756
貸倒引当金	△138	△194
流動資産合計	2,251,501	1,895,659
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	59,432	57,791
構築物(純額)	1,850	1,652
機械及び装置(純額)	50,831	72,595
車両運搬具(純額)	2,136	1,708
工具、器具及び備品(純額)	8,291	9,623
土地	1,122,839	1,122,839
リース資産(純額)	37,982	31,839
有形固定資産合計	1,283,363	1,298,050
無形固定資産		
ソフトウェア	3,283	3,309
リース資産	—	19,980
電話加入権	2,350	2,350
無形固定資産合計	5,633	25,639
投資その他の資産		
投資有価証券	19,816	22,333
関係会社出資金	36,668	36,668
破産更生債権等	6,591	6,591
長期前払費用	2,300	2,932
繰延税金資産	10,735	—
敷金	13,502	13,720
ゴルフ会員権	83,505	83,505
貸倒引当金	△22,006	△22,006
投資その他の資産合計	151,114	143,745
固定資産合計	1,440,111	1,467,435
資産合計	3,691,612	3,363,094

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	842,554	663,538
工事未払金	368,224	393,902
短期借入金	12,000	24,000
1年内返済予定の長期借入金	245,000	205,000
リース債務	13,043	17,838
未払金	55,250	65,206
未払費用	9,238	16,942
未払法人税等	20,518	3,863
未払消費税等	29,783	13,950
未成工事受入金	—	10,487
賞与引当金	24,980	25,534
完成工事補償引当金	2,842	3,205
その他	1,664	2,578
流動負債合計	1,625,099	1,446,046
固定負債		
長期借入金	440,000	350,000
リース債務	27,357	37,618
退職給付引当金	177,390	171,760
役員退職慰労引当金	41,800	26,489
固定負債合計	686,547	585,868
負債合計	2,311,646	2,031,914
純資産の部		
株主資本		
資本金	209,200	209,200
資本剰余金		
資本準備金	180,400	180,400
資本剰余金合計	180,400	180,400
利益剰余金		
利益準備金	24,050	24,050
その他利益剰余金		
別途積立金	985,000	985,000
繰越利益剰余金	△11,088	△62,391
利益剰余金合計	997,961	946,658
自己株式	△1,529	△1,529
株主資本合計	1,386,031	1,334,728
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,066	△3,548
評価・換算差額等合計	△6,066	△3,548
純資産合計	1,379,965	1,331,179
負債純資産合計	3,691,612	3,363,094

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,628,818	1,879,573
完成工事高	1,617,457	1,872,911
商品売上高	11,360	6,661
売上原価	1,355,810	1,594,918
完成工事原価	1,347,448	1,589,522
商品売上原価	8,362	5,396
売上総利益	273,007	284,654
完成工事総利益	270,008	283,388
商品売上総利益	2,998	1,265
販売費及び一般管理費		
役員報酬	18,777	15,500
従業員給料手当	110,639	107,322
賞与引当金繰入額	12,956	12,276
退職金	494	1,730
退職給付費用	5,554	6,054
役員退職慰労引当金繰入額	7,123	7,189
法定福利費	20,761	18,599
福利厚生費	692	1,180
修繕維持費	4,134	4,154
事務用品費	3,036	2,531
通信交通費	26,398	24,044
動力用水光熱費	3,352	2,984
調査研究費	19,414	22,677
広告宣伝費	207	1,707
交際費	3,261	3,508
寄付金	32	20
地代家賃	16,689	17,516
減価償却費	5,477	8,617
租税公課	9,104	9,267
保険料	1,018	964
雑費	33,510	34,675
販売費及び一般管理費合計	302,637	302,521
営業損失(△)	△29,629	△17,867



(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業外収益</b>		
受取利息	61	5
受取手数料	220	148
受取配当金	335	356
受取技術料	7,670	6,999
雑収入	—	1,073
営業外収益合計	8,287	8,584
<b>営業外費用</b>		
支払利息	4,327	3,342
為替差損	—	1,222
雑支出	42	1,677
営業外費用合計	4,370	6,242
経常損失(△)	△25,712	△15,525
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	374	—
特別利益合計	374	—
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税引前四半期純損失(△)	△25,338	△15,525
法人税、住民税及び事業税	970	960
法人税等調整額	△3,105	679
法人税等合計	△2,135	1,640
四半期純損失(△)	△23,202	△17,165

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△25,338	△15,525
減価償却費	21,762	25,167
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19	56
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,150	△5,630
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,865	553
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△8,676	△15,310
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△190	363
受取利息及び受取配当金	△396	△362
支払利息	4,327	3,342
為替差損益(△は益)	—	1,222
固定資産売却益	△374	—
固定資産除却損	—	0
売上債権の増減額(△は増加)	444,117	△79,402
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△1,466	△19,519
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,913	△9,940
仕入債務の増減額(△は減少)	△203,135	△169,597
未払金の増減額(△は減少)	2,781	△6,265
未払消費税等の増減額(△は減少)	△14,471	△15,833
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△414	10,487
その他	△16,702	3,080
小計	206,174	△293,116
利息及び配当金の受取額	396	362
利息の支払額	△4,125	△3,131
法人税等の支払額	△6,580	△16,721
営業活動によるキャッシュ・フロー	195,865	△312,606
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△31,611	△8,393
有形固定資産の売却による収入	1,210	—
無形固定資産の取得による支出	△498	△1,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,898	△9,493
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	13,998	12,000
長期借入金の返済による支出	△100,000	△130,000
リース債務の返済による支出	△5,821	△7,143
配当金の支払額	△23,847	△29,823
財務活動によるキャッシュ・フロー	△115,671	△154,966
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	49,294	△477,066
現金及び現金同等物の期首残高	690,865	983,194
現金及び現金同等物の四半期末残高	740,159	506,127

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

受注高、完成工事高及び繰越工事高

## (1) 受注高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		前事業年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	1,199,714	64.3	1,533,741	71.1	3,004,874	74.4
地盤改良工事	667,345	35.7	527,412	24.5	1,022,739	25.4
その他工事	—	—	94,960	4.4	9,350	0.2
合計	1,867,059	100.0	2,156,113	100.0	4,036,963	100.0

## (2) 完成工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		前事業年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	1,146,590	70.9	1,393,402	74.4	2,794,738	73.4
地盤改良工事	470,866	29.1	430,117	23.0	1,003,993	26.4
その他工事	—	—	49,391	2.6	9,350	0.2
合計	1,617,457	100.0	1,872,911	100.0	3,808,081	100.0

## (3) 繰越工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第2四半期累計期間末 平成27年9月30日		当第2四半期累計期間末 平成28年9月30日		前事業年度末 平成28年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	476,410	70.1	773,761	82.1	633,421	96.1
地盤改良工事	203,485	29.9	123,048	13.1	25,753	3.9
その他工事	—	—	45,568	4.8	—	—
合計	679,896	100.0	942,377	100.0	659,175	100.0